

平成 29 年度成人式 1/8(日) 「おめでとう。大湫町の新成人」 各務千花さん)

おもな内容 ・創設 40 周年にむけて …P2∼P3 (大湫町コミュニティ推進協議 30 周年行事)

どんど焼き ...P4

・HP 開設しました ...P5

・丸森邸,冬の俳句 …P6∼P8

「創設 40 周年にむけて」

瑞浪市議会議員 小川ゆうき

大湫町コミュニティ推進協議会が創設され30周年を迎えましたこと、心よりお慶び申し上げます。

30周年という事で、私が1歳の時に大湫町まちづくり推進協議会が創設されたことを考えると、長い歴史を感じると共に、まちづくり活動に従事された先達の弛まぬ努力に敬意を表します。

この長い歴史の中で、先進的な取り組みを重ねられました。「中山道大湫太鼓」は取り組みが続けられ伝統になりました。また、平成28年度より瑞浪市の事業として始まった「デマンドバス事業」は、大湫町では平成22年度から「コミバス大湫」としてはじめられており、国土交通省が発行している「デマンド型交通の手引き」に先進事例として紹介されています。このように先進的な取り組みを続けている大湫町コミュニティ推進協議会は、平成29年1月より「大湫町公民館」と観光の拠点となりうる「丸森邸」の指定管理をうけました。

この指定管理を契機に、創設 40 周年にむけより一層、町民への顔の見えるまちづくり活動に発展していくことを、また、市民はもちろんの事、市外、県外、海外の人へさらに大湫町の魅力を発信できるよう祈念すると共に、私もこのまちを想うひとりとして協力していきたいと思います。創設

30 周年!!万歳!!

1月22日(日)開催



コミュニティ推進協議会 (まちづくり)会長の挨拶で式典がはじまりました



各団体の活動や、コミ(まちづくり)年表そして、広報「大湫」 を展示







第5代目大竹氏(左)・第4代目安藤氏(右)

民と秋山さん氏と秋山さん既代コミ会長に歴代コミ会長に



丸森邸の修復及び工事を指導して頂いた、名古 屋市立大学大学院の溝口教授による講演



集まろう会大湫太鼓・竹山流津軽三味線「幸栄会」による 演奏が式典を盛り上げて下さいました

式典のフィナーレは参加者の皆さんで『風船飛ばし』

大湫町民総出のおもてなし







御来賓の皆様、協賛頂きました地元企業並びに関係者の皆さまお疲れさまでした。そして、ありがとうございました。

引き継がれていく「どんど焼き」

足立 貴一

今年のどんど焼きは辺り一面真っ白に 雪化粧した中で行われ、寒いながらも風 1月15日(日)に無病息災を願って足又・神田・大湫(西・北)の 3地区で行われました

情のあるものとなりました。毎年恒例となっている門松の竹を使って燗を

つけたお酒を、雪景色の中で頂くというのは、まさに田 舎ならではの贅沢だと思います。

私個人としては、今年3年ぶりに家族そろって参加することができたことが大変嬉しく、些細なことではありますが、区の行事を通じて夫婦親子で協力し合えたことが誇らしく思えた一日でした。また、種火を受け取り少し緊張した面持ちで点火する子供たち姿を眺めながら、やっぱりどんど焼きには子供の笑顔が似合うなとあらためて感じました。そういう意味では、今回子供が参加で



足又のどんど焼き

きたのが我家一世帯だけだったのが少し残念でもありました。私が今、自分の子供と普通にこの行事を楽しめているのは、かつて子供だった自分達と一緒に楽しんでくれる大人たちを見てきたからだと思います。地域を離れれば、そこには新しい楽しみや刺激があふれていますが、この地域で暮らしているからこそ味わえる楽しみ喜びもあるのだということを、あるいは地域の中で大人になって担っていく役割や姿勢を、次の世代に伝えていくことが親の役目の一つではないかと思いました。時代が変わり、何もかも昔のようにはいきませんし、変えていかなくてはいけないこともありますが、世代を超えて楽しみを分かち合えるこういった行事は、その意味とともに今後も引き継がれていって欲しいと思います。



子ども代表による点火式

火種で餅や鰯、中に は肉やスルメも・・・焼 いて、今年 1 年皆が健 康に過せるように祈り ました

大湫町"ホームページ"の開設のおしらせ

丸森邸の修復工事が完成し、1月5日(木)から一般公開が始まっています。大湫町コミュニティ協議会が、この丸森邸と公民館の指定管理者となり管理運営を担当することとなったことに合わせて、従来のホームページも新たなものに変更されました。

スマートホン、パソコン、携帯で新規開設されホームページを訪れてく ださい。

URL は http://okute-shuku.jp (検索) (大湫町コミュニティ推進協議会) からも、このホームページを見ることができます。下記の QR コードを携帯で読み取っていただくことからも、ホームページの閲

覧が可能です。

期待できる閲覧回数の増加

ことが期待できます。

開設以来の閲覧回数はすでにおよそ600回。大湫町の行事や修復された丸森邸、大湫町コミュニティ協議会創設30周年記念行事など、町外・県外の皆様からご覧いただいています。

会創設30周年記念行事など、町外・県外の皆様からこ http://okute-shuku.jp 覧いただいています。 町内の皆様も、是非一度このホームページを訪れてください。そして町内のニュースをお寄せください。情報伝達の大きな役割を担うことになる

毎月発行しております広報「大湫」の2017年1月号もご覧いただけます。今後は発行済みの「大湫」もご覧いただけるようになりますのでご活用ください。



丸 森 よで ろす お 願 宮い 地し 真 ま 美す 子

ター 森 ッカ 邸 とのフ月 \mathcal{O} 笑サはが _ 過 月 をビ手 ぎ 五. 添スさ ま 日 ぐ L 才 りた プ を し私 っのなたか

·ぱ大あろ心寒」町い内らス約丸 と配いと り 民ま 着夫が気しで声 のす を にてた 方 か 々 けて けたへてだん に 着 御 ただ て来な 苦 り、 労 ,。 。 本 7 B た 本いぁ ね り、エ 当 ろ |

介でマラらっ一にいと「一て案がちら . い丈 缶 ・とは言 とうごが とうごが とうごが ? 森な _ はんす のる が言 スは ず 鳴いい作ざ くまま務いいい で ツ こせす衣またた ろん。のすだり ろ \mathcal{O} がだ中 自 己 、かに は 紹 スド 11

宮 美

ょ な 元 地 ろ 宿 気 真 L 場 だ < 町 け おに が 願な取 いる ŋ L ょ 柄 ま う で す頑 す 張 ŋ に ぎ Þ カン

高 島 貞 子

りて 町こ に \mathcal{O} ま 11 せ ま 恩 年 んず。 返に L な どこま が り で ま き L でる 7 < お出か Þ 来な 願 る と 0 1 لح カゝ 頑 L 分 張 大 ま カゝ 湫 2 す

等 湯

に茶

顏一

え

•

て施

頑 設

張内

安 子

けだ市藤 き内博 る • よ市 う 頑か外 っか 張 り 5 た ま 大 \sqsubseteq لح 湫 思 宿 2 に 7 来 V 7 た 11 だた

植 美よ

す よけ 今 村 O ろ て 度 明 しい明 < ま 美 丸 お す。 で 森 願 す で い地 お L 元 11 留 つ守 ま 大 す湫 も番 \mathcal{O} 笑 を 者 顔 L で を て す 心 11 が ま

纐 纈 静 代

勤 \otimes 強 ょ さ 不 ろ せ 足 7 で < 11 何 おた t 願 だ わ き 11 カュ たり L ま いま す。 とせ 思 W 11 が ま

松 恵

まだす 大生井 す き 湫 ま ま丸 \mathcal{O} れ子 す。 森 大 ŧ) で 杉 育 よ仕 لح 5 事 ろ 観 ŧ を L 音 < さ 堂 戸 おせ が 町 7 願 好 で き す た で

太

いでの釜 大 田 ٦ 戸 と仕 湫 雅 ろ町 子 思 事 生 子 0 が かに ま \mathcal{T} で ら住 れ き 11 な ん る ま れ で 大 す \mathcal{O} 親い 湫 で L ま 育 す 頑ん だ 張 り 大 子 現 た湫供在

早 瀬 克

7 お来な に 中 願 ま ŋ ち 興 Щ す。 ま 味 5 道 で を L L لح ま 早た お持 東 す。 世 5 瀬 海 で 明 話 ま 道 す世 に L を 町 な た 歩 ょ 月 る 11 ろ吉 今 7 と 回宿 カュ に 5 場

中 林

今 回京 中 ` 子 林丸 京 森 子 で と お 申 世 し 話 ま に す な 私ま

< 楽 カュ ま は 隣 6 4 す お L 4 \mathcal{O} \mathcal{O} \mathcal{O} 願 に 方 新 宿 11 大 務 ŧ 湫 ま \otimes 11 見 \mathcal{O} 町 え す ま 発 皆 細 す ま 見 様久 す 方 手 \mathcal{O} で 出 が لح カン ょ 会 はら ろ 11 顔 を な り れ

井 恵 子

ま き 中 す。 ま 縁 Щ L 道 た。 ボ ラン 丸 よろし 森」 テ イ に < ア もご縁 お ガ 願 イ K が \mathcal{O}

丸森邸からのご案内!

ぱ

11

努

 \Diamond

さ

せ

7

1

た

だ

き

ま

す。

る

観

光

案

内

所

な

る

ょ

う

精

0

Ш

道

大

湫

宿

丸

森

が

楽

<

活

気

あ

な

方

に

お

知

恵

を

お

借

り

L

て

中

タ

ツ

フ

+

名、

れ

カン

5

1

ろ

11

ろ

施

設

長

玉

置

さ

 λ

を

頭

12

女

性

ス

 $\stackrel{\wedge}{\sim}$

《桃の節句》を行います

日時: 3月3日(金) 10:00~15:00



石《訂

蕗誤正

 \approx

お

詫

U

申

上

げ

ま

す。

枯

れ

7

枝×

ŧ)

制×

げ

2

る

八

+

路

掲

載

に

誤

n

が

あ

り

ま

し

た

 \mathcal{O}

で

前

뭉

 \mathcal{O}

天

野

辰

代

さ

ん

 \mathcal{O}

俳

旬

で

お

わ

1)

どうぞ皆様お誘い合って、お雛様を見に丸森邸へ お越しください。

*なお、お雛様は2月の節分が過ぎてから~4月3日まで 華やかに展示しています。

カ

な

石っへか

蕗ゎ正な

枯⇨≫

れ

て

杖ぇ

£

剥は

げ

る

る

八ゃ

+2

路に

冬 俳 句 新 年 ŧ 含 む

天 野 辰 代

屠と 幾い 14 蘇モ 年と に 汲 < t ŧ 聞 雑ぎ < 煮っ 延礼 に 命ぃ 供 新 **^**え 7 除じ 合がっし 夜。 堂 \mathcal{O} 鐘ね す

4

7

祝

Š

我

が

家

カゝ

な

Щ \Box

と 出 る 初 4 くじ

末ぇ

古き

寒》 \mathcal{O} 入 1) \mathcal{O} \mathcal{O} 文も

番ば 要す \mathcal{O} 山ゃ 木で 羊 偶、 に 眼を合 はゎ せ る 字に初は

鼓が

大 竹 照 子

 \mathcal{O} 煙 4 7

外 子 Fi を は ŧ < 達 音 ど W で 目 Fi ば \Diamond る 雪 朝意走

旧

友

に

会

えて

う

れ

L

B

は

だ

れ

雪

萌 悦 子

集まろう会、がんばってます

紅

白

 \mathcal{O}

花

餅

愛

で

る

丸

森

邸

新

雪

に

猫

が

書

初

 \Diamond

梅

 \mathcal{O}

花

足

小

目.

た

た

11

7

ŧ

割

れ

め

バ

ケ

ツ

 \mathcal{O}

雪

氷

恵

那

Щ

に

雲

巻

<

次

 \mathcal{O}

日

雪

景

朝

起

7

お

ŧ

わ

ず

は

お

る 猫

で

ん

ち

コミュニティ(まちづくり)活動の発足と同時に始まった大湫 太鼓は、男太鼓・女太鼓・子供太鼓・中高生太鼓(湫龍太鼓)と 移り変わり、今では子どもからお年寄りまで参加する集まろう 会大湫太鼓として、町内行事はもとより、市内各地の行事にも 参加してイベントを盛り上げてます。昨年暮れの『オークワ稲 津店オープンセレモニー』や『丸森のお披露目式』でも太鼓演 奏を披露。そして、1月22日の『大湫町コミュニティ推進協 議会創設 30 周年記念式典』においても演奏を披露してくれま



今年はどんな年になるか

になりそうだ。年は「Z」旗を掲げるぐらい大変な年年は「Z」旗を掲げるぐらい大変な年しているかお判り頂けると思うが、今し)。」八十過ぎの方なら何を言わんと「天気晴朗なれども寒気強し(波高

年頭から世界がどうなるかなんて、 年頭から世界がどうなるかなんて、 野暮なことを言うつもりはないが、ア がらの春らしに大きく影響して来る からの暮らしに大きく影響して来る ことになり、世界中が恐慌とし なうとしている。いずれも私達のこれ からの暮らしに大きく影響して来る ことになる。

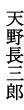
りて自身のことにふれてみたい。かに過ごしたいと思う。まず紙面を借思うこと、やっている事を念頭に波静思がないので、せめて年末・年始にも飲めないので、せめて年末・年始に

でくりが出来ると心強く思う。 といと願った。年の明けるのを待って神明・自山両社に向かう。誰のアイデーといと願った。年の明けるのを待ってはなって手を合わせ、煩悩を払う除夜のがって手を合わせ、煩悩を払う除夜のがなりが出来ると心強く思う。

する人もあるが結構なことだ。何と言でもない。それで成功してお礼参りをは判っているが、気休めにお願いする人が多い。何事も一生懸命努力する人は判っているが、気休めにお願いする頼み」は駄目だと受け付けられないの頼み」は駄目だと受け付けられないの頼み」は駄目だと受け付けられないの頼か。神様も聞きあきて「苦しい時の神

育った者に 水で生まれ 大田 様の大杉の

る。 雲に覆われて見えない年もある。見ら みに行く。晴れて見られる年もあるが 町のためにお骨折りをお願いする。 ず」という教訓があるが、加齢ごとに だけでも快感がある。「歳月人を待た れた年は良いことがあるかもと思う 雪に耐えて千四百年近く生きて来た とって、何物にも代え難い。頑張 は働き盛りである。身勝手な要望だが るが、気力で頑張りたいと思っている。 は避けられず、農業に限界を感じてい ことを無言で教えて呉れている。 百年生きるのは至難の業ではない。風 年の過ぎるのが早く思われる。そう て暮れた一日を悔やむことが多い。 今一つ、花の森に「初日の出」を拝 とは言っても齢と共に体力の衰え 年の初めに当たり、六十代・七十代 気休めに神様・仏様を頼みたくな れ



「大湫公民館・まちづくりからのお知らせ」

リ・アップ"ひよも"だより

2月のお茶のみ会のおさそい

日時 2月1日 (水曜日) 9:30~11:00 頃まで

場所 大湫老人作業場

参加費 50 円

お待ちしています

整理券あります

第1部:映画「鳥の道を超えて」

*第1部に整理券が必要です。

第2部:座談会

「かつてのカスミ網猟を考える」

日時:平成29年2月26日(日)

13 時~16 時 30 分

場所:市文化センター

文化財「丸森邸」防火訓練

日時:平成29年2月5日(日) 午前10時30分~1時間程度

(小雨・小雪決行)

場所: 丸森邸(国登録有形文化財)

皆さんのご参加お待ちしてます。

オススメ!大湫分室の本 「日本語大好き キンダイチ先生、

言葉の達人に会いに行く」 金田一秀穂:著

日本語は美しい?乱れてきている?テレビでお馴染みの金田一先生が、様々な言葉のプロと行った対談集です。

確定申告相談日

大湫町の申告相談日は次の通り です。

日時:3月8日(水)

9時~11時30分まで

場所:大湫公民館

青色回転灯防犯パトロール 2月のパトロール予定者



<u>2/上旬</u>

高木正明 植村 準 2/下旬

棚橋 悟 奥村義二

*大湫宿お休み処

2月の営業はお休みさせていただきます。

*おもだか屋『ほっか』

2月営業日 (原則)毎週金、土、日曜日 営業時間 AM10:00~PM2:00 (ただし、営業日は変更になる事もあります。)



区長日記

です。幸いこの大湫では雪の量も少なくホッとしているこの頃幸いこの大湫では雪の量も少なくホッとしているこの頃れ、生活に支障が出ている地域が多く報道されていますが、寒い日が続き、北国では毎日のように大雪警報が発令さ

と希望に向って進んでいきたいと思っています。れ大湫町民の皆様が大過なく過ごせるよう参拝し、共に夢1月5・6日のお伊勢参りも町内より24名の方が参加さ

心温まるものがありました。姿が見られない大湫もこの日ばかりは賑やかで遊ぶ姿に気に恵まれ、大勢の人で行う事ができました。日頃子供の15日の各地区のどんど焼きも前日の雪が嘘のような天

ました。
等々大勢の来賓の皆々様を迎え盛大に開催する事ができ者、そして連合自治会や各地区まちづくり会長、地元企業年記念式典」では、市長をはじめ議長・県議及び行政関係
さて、22日の「大湫町コミュニティ推進協議会創設 30周

名古屋市立大学大学院教授の溝口先生による魅力ある

りました。関係者の皆さんお疲れさまでした。そして本当ち一ま一・豚汁・五平餅や地元企業より協賛いただきまし会による津軽三味線やメッセージ付き風船飛ばし、抹茶・方向を示していただきました。集まろう会大湫太鼓・幸栄町づくりについてのご講演により、大湫町が今後進むべき

1月 4日 大湫公民館・丸森 指定管理スタート\辞令交付

にありがとうございました。

5.6 伊勢神宮参拝

8日 瑞浪市成人式

9日 瑞浪市出初式

11日 定例区長・幹事会

15日 どんど焼き

20日 大湫町コミュニティ推進協議会

MILLIA

22日 大湫町コミュニティ推進協議会創設30周年記念式典の会場準備

創設 30 周年記念式典

27日 連合自治会/区長・幹事会新年会

編集後記

に2月になりました。 年があけて、 あっとい 2月と う間

いえば、節分。

節分は季節を

現在 結に ます 日が続きます。 暦の上では春がやってき 分けると言う意味があるとか。 で特に余裕を持って運転して め が、 も注意が必要です。 大湫町は道路 通行止め 通称釜户坂』 まだ々寒い となってますの そし 0 凍 が工事の

て、

У

集 発 行:大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会 平成29年2月1日 瑞浪市大湫町 422-1 Tm 0572(63)2360 http://okute-shuku.jp/